

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年5月22日(木)
第6号

◆1年生専門教科、2、3年生作業学習始まる◆

本年度から「職業学科」が立ち上がり、今まで「作業学習」と言っていた学習が「専門教科」という名称に変わりました。1年生は、①オフィスコース ②フードサービスコース ③ロジスティクス・ファームコース ④ビルクリーニングコース 一年間で4つのコース、全ての作業を経験します。2、3年生の作業班は、①事務・軽作業班 ②パン・接遇班 ③農耕班 ④清掃・福祉班の4つの班に分かれて1年間同じ班で作業学習を行っています。今回は2、3年生の各作業班について簡単に紹介をします。

①事務・軽作業班の事務作業として、タイムカード作り、名刺作り、カレンダー作り、農耕班やパン・接遇班で使用する製品ラベルなどの作成を行っています。軽作業としては、工具の安全な使い方を学び、ボックスの組立や実習先からいただいている製品の解体作業、印刷で使用する用紙の在庫管理として、用紙の数量点検や補充作業を行っています。



②パン・接遇班の製造部門では、パン作りや焼き菓子作り、喫茶部門では、接遇を主に学んでいます。仕事内容として、釜出し、道具の片付け、パンの袋詰め、レジ打ちなどを行っています。食品関係の仕事なので、衛生面では特に気を付けています。レジでは、暗算が苦手な生徒も電卓を使って、間違えのないように頑張っています。



③農耕班では、野菜や花の栽培に至るまでの大切な基礎となる土作りから全て手作業で行っています。作業する上で心がけていることは、5S(整理 整頓 清掃 清潔 作法)です。暑い日や寒い日もありますが、天候に負けないように頑張っています。外で作業できない時は、室内でハーブソルトなどの商品も作っています。



④清掃・福祉班では、清掃作業としては、T字モップやダストクロスなどのいろいろな清掃道具を使用して、学校内や近隣の市民センターなどでの清掃を行っています。

「専門教科」や「作業学習」は、『働く力をつける』という上で、教育活動内でとても大切な位置づけとなっており、「産業現場等における実習」につながる「働く力」を身につけることができます。また卒業後の就労を目指すうえでも大切な教育活動の位置づけとなっています。

◆進路支援部より◆

人は、社会の中で他の人と関りながら(社会参加)生きていきます。そして、その社会の中で、できる限りの自立(経済的自立・生活的自立・精神的自立)を目指して、生活していきますが、時には他の人の手助けが必要となる時もあります。その時に「手伝ってください」「助けてください」「分からないので教えてください」と素直に言えることが大切です。

